

松江 ホーランエンヤに奉賛金

関西在住の松江市出身者でつくる近畿松江会の伊藤征治会長(80)が20日、来年5月に開催される松江城山稲荷神社式年神幸祭「ホーランエンヤ」の奉賛金を、同祭奉賛会の有沢寛副会長(72)に贈り、10年ぶりとなる神事の成功を願った一写真。

奉賛金は会員163人に募った寄付金など計20万円で、伊藤会長と竹谷奨幹事長(65)が松江市末次町の市役所を訪問。

伊藤会長は「古里の祭りは魅力があり、出身者のつながりが広がる要素にもなる」と激励し、近畿松江会で初日の渡御祭を観覧する会員対象のツアーを計画していることを明らかにした。

有沢副会長は「応援してもらえ、うれしい。大成功させたい」と謝辞を伝えた。

奉賛金は、祈祷(きとう)に使う道具や衣装などの購入費用に充てる。

(岩井彩佳)

